

### 第3学年 年間指導計画(社会 全70時間)

学習の目標	
(1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。 (2) 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。 (3) 地域における社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。	
学習の方法	
○自分たちの身近な地域や市について、学ぶ。地域の様子は場所によって違いがあることを考える。 ○地域の人々の生産や販売について学ぶ。そして、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考える。 ○人々の安全を守るための関係機関の働きと従事している人々の工夫や努力を考える。	
学習の評価	
次の4つの観点にそって、どれだけ実現できたかによって評価する。 1.関心・意欲・態度 2.社会的な思考・判断 3.観察・資料活用の技能・表現 4.社会的事象についての知識・理解 「よい子のあゆみ」では1～4についての評価の結果をお知らせする。 評価の方法は、ペーパーテストだけでなくプリント・ノート・発表などで行う。	
単元名	主な学習内容
1 わたしたちのすむ町 や広島市のようす	
(1) 学校のまわりのようす	・学校の周りのようすを観察し、絵地図や平面地図に表して調べ、場所によるようすの違いや特色を具体的に考える。  ・身近な地域の事物・事象や特徴ある場所のようすに関心を持ち、五感を働かせて意欲的に調べるとともに、身近な地域のよさに気づく。
(2) 広島市のようす	・地図、写真、その他の資料を活用して選んだ場所の特徴を調べ、工夫して表現する。
(3) 広島市全体のようす	・学校のまわりや市の特徴ある場所の様子を比較し、類似点や相違点を整理する。
2 広島市の人々の仕事	
(1) わたしたちのくらしと商店の仕事	・身近な地域では、人々が販売に関する仕事をしていて、生活を支えていることを学ぶ。  ・身近な販売活動の実際について、観察・調査したり、表現したりすることを通して、仕事の特色や他地域とのかわりや販売に携わる人々の工夫を具体的に考える。
(2) わたしたちのくらしとものを作る仕事	・地域では、人々が生産に関する仕事をしていて、わたしたちの生活を支えていることを学ぶ。  ・身近な生産活動の実際について、観察・調査したり、表現したりすることを通して、仕事の特色や他地域との関わり、生産に携わる人々の工夫を具体的に考える。
3 安全なくらしを守る	
(1) 災害からからのちを守る	・消防署で働く人の仕事の工夫や努力を知り、火事が起きたときの関係機関の緊急事態に備えた連絡、活動の仕組みを学ぶ。  ・身近な町の火災に対する備えを知ることにより、安全な暮らしへの関心を高める。
(2) 事件や事故からのちやくらしを守る	・事件や事故から暮らしを守っている警察の働きを知り、そこで働く人々の工夫や努力を学ぶ。  ・地域での調査活動をもとに、自分たちの安全な暮らしと警察の仕事が密接に結びついていることを学ぶ。